

I・TOP横浜セミナー

ものづくり白書とIoTの最新事例から学ぶ、製造業DXとは

開催日時	2020年10月8日(木) 17:00~18:30 (終了予定)
開催方法	オンライン開催 (zoom webinar)
主催	横浜市経済局 (事務局: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
参加費	無料 (事前申込制) *お申込み方法は裏面をご参照ください。

セミナーの概要

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う需要の減少により、国内製造業ではサプライチェーンの寸断リスクが顕在化するなど、いま、製造業には「不確実性に迅速に対応する力」が求められています。また、大手企業のみならず、サプライチェーンの一端を担う中小製造業においても、市場や社会経済環境のニーズや変化に迅速に対応するため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めていくことが求められています。DXやIoT化の必要性は理解しているものの、どのような取組から着手すれば良いかわからないと悩む事業者も少なくありません。
- こうした背景を踏まえ、本セミナーでは、最初の一步を検討・具体化する際の参考となる、製造業を中心としたDX、IoT化の潮流や最新のトピックスについて、次の2部構成で紹介します。

プログラム (予定)

① 講演内容

2020年版ものづくり白書「概要」：製造業は、不確実性の時代をどう生きるか？ ～これから求められる「企業変革力(ダイナミック・ケイパビリティ)」とデジタル・トランスフォーメーション～

- ✓ 不確実性が高まる世界と製造業のリスクシナリオ
- ✓ 鍵となる企業変革力 (ダイナミック・ケイパビリティ) とデジタル・トランスフォーメーション
- ✓ 危機をイノベーションの好機とするために ～日本の製造業が向かうべき方向性～

講演者

経済産業省 製造産業局 ものづくり政策審議室長 矢野 剛史 (やの つよし)

1997年、通商産業省(基礎産業局総務課)に入省、その後、資源エネルギー庁、内閣官房(知的財産戦略推進事務局)、在シンガポール日本大使館、貿易経済協力局(貿易管理)等を経て、現在、ものづくり政策審議室長として、ものづくり白書の作成等を担当。

② 講演内容

IoTの新しい応用やサービスをみんなで開拓するオープン・プラットフォーム「Leafony」の事例紹介

- ✓ Leafonyの概要
- ✓ Leafonyを活用した先行事例の紹介 (IoT実装に向けた一步を踏み出すヒント)

IoTを実装しようと思っても、センサや通信モジュール、電源などをゼロからシステム化することは決して容易ではありません。Leafony (リーフォニー) では、これら構成部品毎にリーフと呼ばれるパーツを用意しており、現場ごとに異なるニーズや課題に合わせて、リーフをブロックのように組み立てることで、必要なIoTを簡単かつ安価に実装することができます。その手軽さから、これまでITやIoTの開発経験がない方々が多く参画し始めており、製造業のみならず、農業、物流など、幅広い分野で活用事例が報告されています。

講演者

東京大学 名誉教授 桜井 貴康 (さくらい たかやす)

1981年、東京大学にて博士取得後、東芝入社、半導体メモリやプロセッサの設計研究開発に従事。1996年より東京大学、生産技術研究所教授。低消費電力・高速集積回路の設計基礎論の先駆的功績により集積回路設計分野で最も権威のあるIEEEのピーダーソン賞を受賞。現在、東京大学名誉教授/上席研究員、JSTナノ・エレクトロニクス分野総括、IEEEライフフェロー、トリリオンノード研究会代表。

形式

本セミナーはオンライン（Zoom）で開催いたします。

- ✓ 事前にインターネット接続可能な機器（パソコン・タブレット端末・スマートフォン等）をご用意ください。Zoomではカメラ・マイク・スピーカーが必要になることがあります。ご使用のパソコンに内蔵されていない場合、別の機器をご用意ください。
- ✓ ご参加の際、ブラウザから参加頂くか、Zoomのホームページ（<https://zoom.us/>）からアプリケーションをダウンロードいただく必要があります。アプリケーションご利用の場合は「ミーティング用Zoomクライアント」のダウンロードをお願いします。
- ✓ iphoneの場合は「App Store」、Androidの場合は「Google Play」で「Zoom」を検索いただき、「Zoom Cloud Meeting」のインストールをお願いします。
- ✓ Zoom以外では本セミナーにはご参加頂けませんので、ご注意ください。
- ✓ 参加者のみなさまは、ご自身や職場で視聴環境をご用意ください。



申込締切

10 / 7 (水)

お申し込みの流れ

お申し込み専用 URL

https://www.murc.jp/seminar/w_201008/

参加登録ページの表示

上記の「お申し込み専用URL」から、お申し込みください。

*セキュリティ警告が表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

申込フォームへ入力

各項目を入力後、「個人情報取り扱いに同意します」のボタンへチェックをお願いします。

入力内容の確認と登録

入力内容のご確認後、「登録」ボタンを押してください。ご登録頂いたメールアドレスに、登録確認のメールが配信されます。

参加URLの受信

開催前日までに、メールにてセミナーの参加URLをお送り致します。セミナー当日は、参加URLよりアクセスください。

*開催前日迄に配信します

お申し込み・開催の留意事項

- お申し込み多数の場合、ご参加人数の調整をお願いすることがございます。
- 反社会的勢力に該当すると認められる場合は、お申し込みを受付することができません。
- 止むを得ない事情により、予告なくセミナーの内容に変更が生じる場合がございます。
- 日程が変更となる場合がございます。変更の際は、お申し込み頂いた方に事前にお知らせ致します。
- 参加URLをE-mailにてお送りします。開催当日になりましても参加URLの受信が確認できない場合には、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。
- 本セミナーの録音・撮影は固くお断り致します。

個人情報の取り扱いについて

- 1.ご記入頂いた氏名等の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」及び「個人情報の取り扱いについて」に従って適切に取り扱います。
 - －個人情報保護方針 <http://www.murc.jp/corporate/privacy/>
 - －個人情報の取り扱いについて <http://www.murc.jp/privacy/>
- 2.お預かりした個人情報は、横浜市「I・TOP横浜プロジェクト創出等推進事業」に関する連絡、情報配信に限って利用し、厳重に管理いたします。
- 3.お預かりした個人情報は、本事業の委託元である横浜市に参加者名簿として提供する場合がございます。前記の場合及び法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- 4.お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- 5.参加のお申し込みの必須項目には必ずご記入ください。必須項目にご記入頂けない場合は、お申込みをお受けできない場合がございます。また、ご記入内容に不備がある場合は、改めて内容の確認をさせて頂く場合がございます。なお、必須項目以外のご記入は任意ですが、できるだけご記入いただけますようお願い申し上げます。
- 6.お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

I・TOP横浜について

横浜市では、IoT等を活用したビジネス創出に向け、交流・連携、プロジェクトの推進、人材育成等の場となる『IoTオープンイノベーション・パートナーズ（I・TOP横浜）』を立ち上げました。I・TOP横浜では、国内外の様々な企業・機関と連携を図りながら、オープンイノベーションにより付加価値の高い製品・サービスの開発や新たなビジネスの創出、新技術を活用した社会課題の解決に取り組んでいます。

I・TOP横浜

IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

<https://itop.yokohama>

«本セミナーに関するお問い合わせ先»

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（I・TOP横浜プロジェクト創出等推進事業業務 受託事業者）

E-mail : proposal-itop@murc.jp Tel : 03-6228-1066（月～金（祝祭日除く）午前9:00～午後17:00）